



〈研究〉産業史上ニ於ケルカルヴィン(2)

藤谷, 光之助

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 23(3):463-469

(Issue Date)

1917-09

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052771>



産業史上ニ於ケルカルウイン (其二)

商學士 藤谷 光之助

四

前述ノ如キ、拉丁基督教會ト經濟生活トノ關係ハ、宗教改革ニ伴フ教會勢力ノ失墜法皇權ノ沒落ト共ニ、徐々トシテ變リ、從來經濟生活ノ中心ニ於テ強行セラレタ拉丁基督教の道德、金錢取引上善惡正邪ノ規準トナツテ居ツタ舊敎主義ハ、漸ヲ以テ其力ヲ失フニ至ツタノデアルケレドモ、而モ此變化ハ急激デハアリ得ナカツタ。蓋シ隋力デアル。否ナ商業的精神ノ發達ヲ喜バナイ舊式ナ傳來的敎義ヲ維持スルニ足ルベキ聖句ハ炳トシテ今尙昨ノ如ク聖書ニ示サレテ居ル。唯法權ノ沒落セル當時之ニ代ツテ王權ノ之ヲ強行スルヲ待テルノミデアル。

(1) 例ヘバ左ノ如シ

馬太傳第六章一九—二一

同 第六章二四以下

同 第十九章一六—二二

馬可傳第十章一七—二五

路加傳第六章二〇、二四

同 第十八章一八—二五

果然、例ヘバ英國ニ於テ Elizabeth (1558—1603) James I (1603—1625) Charles I (1625—1649)

等ハ王權ヲ以テ傳來的敎義及標準ヲ維持シ以テ實生活ヲ律セントシタ。若シ斯克ノ如キ古式、舊敎

的商業道德ヲ維持セントスル計畫ガ成功シ利子ヲ禁ジタトシタナラバ爾後ノ社會的經濟的狀態ハ果シテ如何ニナツタカヲ想像スル事ハ、素ヨリ興味ノアル所デハアルガ徒爾ニ屬スル、近世のナ貸借ノ制度ガ非常ナ勢ヲ以テ發達シテ來タカラデアル。借入タ資金ヲ以テ商業ヲ營ムノ方法ハ、素ヨリ動搖ト危險トヲ増スケレドモ、又同時ニ直接間接非常ナ利益ヲ與ヘタ事ヲ否ミ得ナイ、財政ノ新シイ制度ハ政府ニ供スルニ大ナル軍資ヲ以テシタデハナイカ、公債ハ例ヘバ英國ヲシテ佛蘭西ノ侵略ニヨク對抗スルコトヲ得シメタデハナイカ。事實ニ於テ貸借、商業の精神ノ發達ヲ阻ミ、經濟生活ヲ規則シヤウトシタ十七世紀ノ企ハ全然失敗デアツタト云ハチバナラス。

カルヴィン及其追從者ナル進步的ナ新敎主義者ト雖モ決シテ所謂 Divine polity ノ目的ヲ棄テタモノデハナイ、地上ニ神ノ王國、單ナル來世ノ準備ナラザル理想社會ヲ來サントスル理想ハ極メテ熾シナモノデアル、唯之ニ達スルノ主義ニツキ新シイ見解ヲ持ツテ居ツタバカリデアル。即チ最高支配者トシテノ法皇ノ權力ヲ否認シ、法皇政治ノ下ニ於テノミ基督者ノ義務ヲ解釋セントスル在來ノ陋習ヲ拒ミ基督敎的社會ニ於ケル各般ノ生活ニ互リ一々基礎ヲ聖書ニ置キ、聖書ヲ以テ人類社會建造ハタメ神意ヲ窺フ積極的指針デアルトジタ。而シテ此點ハ彼徒ノ力デアルト共ニ又其根本的弱點デアル。蓋シ聖書ハ重要ナ社會ノ事物即チ社會的政治的經濟的事物ノ一ツノニ毫モ直接ノ光明ヲ與ヘルモノデナイカラデアル。敎會政治ニ關スル使徒行傳ノ敎サヘ、明ニ過渡的ナモノデアツテ永久ノ指針トスルニ足ラス、モト異敎國ニ於テ迫害セラレタ初代基督敎徒ノ狀態ニ適スル指針ハ以テ遙カ時代ヲ異ニスル基督敎社會ニ於ケル自由市民ノ位置ニ適ハシイ敎訓トハ云ヘナイ。新約全書ハ

民事、刑事、軍事、生命、財産ノ保護等ニ就イテ何等云フ所ガナイ、是等ノ問題殊ニ各種ノ經濟問題ニ關シテ新約全書ハ何等ノ據ルベキ法則ヲ示シテキナイ。玆ニ於テカルヴァインハ所謂神意ノ顯現ヲ神ガ古代民ニ下シタ約束即チ舊約全書ニ求メタ。即チ斯クスルコトニヨリ不知不識ノ裡ニ基督教のナル或モノヲ棄テ、舊約時代ノ猶太的商業道德ニ歸ツタモノデアル。

抑々中世ニ於テ商業上猶太主義 Jewish standard ト基督教主義 Christian standard トノ主ナル差異ハ利息ニ關シテ起ツタ。前者ノ感情ニヨレバ利息ヲ以テ他國人ニ金錢ヲ貸ス事ハ、全然許スベキ事デアツタニ反シ⁽²⁾、後者ハ、ソレヲ貪吝ノ行爲ナリトシ、人ガ自ラ其金錢ヲ使用スルタメニ被ムル危險ヲ避ケンガタメノ卑怯ナ行爲トシ、人ハ之ニヨリ他人ヲ犠牲トシテ自ラノ利益ヲ圖ルモノデアルトシタ。(前段參照)。

(2) 舊約全書申命記二十三章一九、二〇

同 第十五章一—四

而モ前述ベタ様ニ十六世紀以來、實際商人ノ考ヘハ著シイ變化ヲ經タ、有利ナ事業ニ放資スル新シイ機會ハ漸次開ケテ來タ、何人モ金錢ヲ其筐底ニ死藏スルヨリハ、低利デモ之ヲ貸スヲ喜ブニ至ツタ、素ヨリ所謂教會法ニ牴觸セズシテ利益ヲ得ルノ途ハナイデハナイ、例バ彼ノ Societies ノ方法ノ如キ其一デアル⁽³⁾、然シ利益ノタメニ一時他人ト組合ヲナスハ、寧ロ自ラ何等ノ危險ヲ負擔セズシテ低利デモ之ヲ貸スノ利益ナルニ如カズ、而モ借主ハ之ニヨツテ少カラザル收利ヲ期待シ得ル、金錢ノ利付貸借ガ愈々盛ンニ行ハレルヤウニナツタノハ極メテ至當ノ道行デアアル。加之新シイ商業技

術ガ益々流行シタ、保險ノ方法ニヨル危險ノ分割ガ發達シタ(4)。凡ソ事茲ニ至ツテ舊道德ヲ維持スルコトハ愈々困難ヲ加ヘタト云ハチバナラス。

(3) Ashley, Eng. Ec. Hist., II, p. 411 ff.

(4) Ibid., p. 440

利息ノ許否如何ノ問題ニ關シテ、カルヴィンハ初メ甚ダ迷フタト云ハレテ居ル、彼ガ *Oecolampadius* ニ送ツタ手紙ハ明ニ彼ガ苦衷ヲ表シテ居ル(5)、而モ彼ハ遂ニ之ヲ否定シナカツタ、否ナ(一)一面ニ於テ其犀利ナル議論ヲ以テ「金ハ金ヲ生ムモノニ非ズ」トスル舊説ヲ排スルト共ニ、(二)他面其該博ナル聖書ノ知識ヲ以テ之ヲ縱横ニ註釋シ聖書ノ教訓ガ決シテ利息ヲ罪惡トスルモノデナイ所以ヲ明ニシタ(6)。而シテ彼レノ此態度ハ Luther ヤ Melancthon ニ比シテ寔ニ數段ノ進歩ガアル、蓋シ Luther ヤ Melancthon ハ、根本ノ原則ニ於テ、尙利息ハ禁ズベキモノナリトノ基礎ニ立ツテ居ツタ、唯之ヲ認メテモ構ハヌ例外ノ場合ヲ指示シタニ過ギヌ。然シナガラカルヴィンニ至ツテハ之ト異ナリ、積極的ニ原則的ニ之ヲ認メ、唯之ヲ制限スベキ數箇ノ場合ヲ示シタモノデアル(7)。其態度ニ於テ從來ノ論者ニ比シ正ニ積極ト消極トノ差ガアル、アッシュレーガ…… “Moreover, it is at once apparent that a justification of usury itself was far more impressive than the allowance of any number of exceptions. Calvin's teaching was, therefore, in a very real sense, a turning point in the history of European thought” ト云シタノハ極メテ正當デアル(8)。

(5) Ashley, II, p. 450 ff.

(6) Wm. Patck, Art. “Jan Calvin,” in *Palgrave's Dictionary of Pol. Ec.*

商業生活ニ對スルカルヴィン派ノ態度ハ基督教の社會ニ於ケル道德ノ標準ヲ舊約全書ニ置イタ點ニアル。惟フニカルヴィンハ思想ノ人タルト共ニ活動ノ人デアッタ。Genevaニ於ケル彼レノ活動ハ能ク知ラル、所デアル。彼ハ此處ニ、彼ノ Savonarola ガ Florence ニ於テ爲シタ以上ノ建設的天才ヲ表シタ。彼ハ一面ニ於テ峻嚴ナル道德ヲ勵行スルト共ニ他方平民のナ寺院組織ヲ遂ゲタ。彼レノ爲ス所ハ著シク市人ニ歡迎セラレタ而シテ Geneva ハ當時ノ重要ナル商業都市デア、即チ基督教ノ此形即チ「カルヴィニズム」(Geneva ノ如キ商業都市民ニ快^{pleased}キバカリニ適合シタモノデア、事ガ知レル、當ニ此都ニ於テ勢ヲ得タノミナラズ、速ニ Scotland ニ入ッテハ John Knox 等ノ唱道ニヨツテ、「プレスピテリアン教」(Presbyterianism) トナリ、佛蘭西ニ入テハ彼ノ「ユグノー」(Huguenot) ノ徒ノ源トナリ、更ニ和蘭、英吉利、ボヘミア等ニ蔓延シタ。Scotland ニ於テハ、吾々ハ産業生活ト「カルヴィニズム」トノ關係ヲ更ニ明白ニ見ル事ガ出來ル。當ニ Scotland ノ國家的統一ニ一種ノ粘着力ヲ與ヘタト云フ點ノミナラズ⁽⁹⁾、又從來力ノアツタ商業上ノ禁令ヤ障害ヲ除イタトイフ點ノミナラズ、更ニ進ンデ同國産業生活ノ中心ヲ刺撃シタカラデア。蓋シ十七世紀中蘇格蘭特別ノ弊風ハ一般ノ怠慢ト無職デアツタ。正義眞摯ナル理想ノ社會ヲ現出スルニハ總テニ先ツテ規律ト勤勉ノ良風ヲ養ハチバナラス、而モ從來此點ニ就テ何等見ルベキモノガナカツタ。然ルニ今カルヴィンノ流ヲ汲ンダ思想ト訓練トノタメ形勢ハ一變シタ。工業ヲ起サントスル者ハ欲スルガ儘ニ、浮浪人

ヲ強制シテ雇入レ勞役ニ從事セシメ、而モ最初ノ十一年間ハ衣食ノ外賃銀ヲ與フルニ及バナイ權利ヲ得タ。善良ナル國民ハ赤貧洗フガ如キ家庭ノ子女ヲ得テ己ガタメニ働カセル事ヲ許サレタ、而モ是等ノ子女ハ三十歳迄命ゼラレルマ、ニ如何ナル仕事ヲモ拒ム事が出來ズ、又主人ノ如何ナル躰ニモ處罰ニモ服シナケレバナラナカツタ。苟モ浮浪怠慢等ノ惡習ヲ排スルタメニハ極メテ嚴格ナ方針ヲトリ、富源ノ開發産業ノ發達ヲ圖ル事ヲ以テ、社會ノ惡潮流ヲ矯正スル最善ノ途ナリトシタモノデアアル。然リ而シテ斯クノ如キ道德ト基礎トナツタモノハ云フ迄モナク舊約文學デアアル。殊ニ箴言 Proverb ノ如キ俗生活ニ關スル教訓ノ多イタメ少カラヌ影響ヲ及ボシタモノデアアル⁽¹⁰⁾、然シ Calvinism 及其流ヲ汲ム Presbyterianism ガ道德ノ基礎ヲ舊約聖書ニ求メタ事ニヨリ自ラ基督教のナル要素ヲ失ツテ數千年昔ノ舊約道德、猶太教主義ニ退歩シタ事ハ爭ハレヌ事デアアル。

(9) 「カルヴィニズム」ノ最モ發達シタル形式竝ニ宗教上ノ主義ガ社會ニ強行セラレタル國家的神聖政治ノ最モ完全ナル顯現ハ之ヲ蘇格蘭ノ「プレスビテリアニズム」ニ見ルカンニンガム前掲書六七—六八

(10) 箴言ハ諷刺ノ巧妙、比喻ノ奇、技文體ノ洒落輕妙ナル舊約書中讀ムニ最モ面白キ書ノ一デアアル。

遮莫「カルヴィニズム」ガ産業生活ノ進歩ノ途上ニ横ハレル舊來ノ障害ヲ除キ之ガ發達ヲ助ケタ事ハ、前來述ブル所ノ如クデアアル。誠ニ之ヲ過去三百年ノ進歩的國家ノ實際ニ見ヨ。佛蘭西ニ於テカルヴィン派ノ影響ヲ最モ多ク受ケタ都市ハ産業ノ發達最モ著シカツタノミナラズ其住民ノ四散スルヤ、各其落付ク所々ニ於テ其地方ノ物質的繁榮上重要ナル要素トナツタ。和蘭ガ西班牙ヨリ獨立スルヤ Calvinism ハ大切ナ役目ヲナシタ、而シテ蘭人が商業界ノ雄者デアッタ事ハ云フヲ俟タナイ Presbyterianism ノ行ハル、蘇格蘭人ノ産業的才能ハ何人モ異議ノナイ所デアアル。英蘭ニ於テモ亦當

時ニ於ケル産業者ノ新階級ガ主トシテ非統一派^{ノンコンファチーミスト}デアツタ事ハ周知ノ事實デアル(11)、是等ノ事實ハ一面ニ於テ「カルヴィニズム」ト産業生活ノ進歩トヲ物語ルモノデハアルマイカ。

(11) Ashley, Ec. Org. of Eng., p. 158.

五

論ジ去リ論ジ來ル所ニヨリ、余ハ結ンデ曰フ、「カルヴィニズム」ハ從來産業生活ノ進歩ノ障害ヲナシテ居ツタ舊式、中世式商業道德ノ桎梏ヲ排除シ新ニ生ルベキ産業發展ノタメニ「其道ヲ直ク^{ナホ}」シタル基督教ノ一形式デアルト。素ヨリ、吾等ハ經濟生活ニ對スル彼レノ思想乃至態度ガ、彼レノ信仰或ハ神學思想其モノヨリ直接ニ流レ出タモノト云フヨリハ、寧ロ實際社會ノ變遷ト其要求トガ彼ヲシテ茲ニ到ラシメタ點ノ多イ事ヲ認メナケレバナラス。又假令彼等ノ態度思想ガ實際界ノ要求ニ誘ヒ出サレタモノトシテモ、彼等ノ其態度思想ノミガ單獨ニ産業生活ヲ助長シタモノトハ云フ事ガ出來ナイ。吾等ハ此外ニ尙幾多ノ之ト共ニ勸イタ要素ノアルコトヲ認メバナラス。而モ之ガタメ「カルヴィニズム」ノ産業生活ノ進歩ニ對スル貢獻ヲ輕視スルコトガ出來ヌカルヴィンハ經濟史上商業史上正ニ重要少カラザル「ページ」ヲ占ムベキデアル。(大正六年六月十五日稿)

附記 此一篇ハカルヴィンノ産業史上ニ於ケル位置ニ就テ、極メテ一般的ナ叙述ナスルノガ最初カラノ目的デアツタ。文中ニ關聯アル多クノ問題、例ヘバ「貨幣經濟」「企業ノ發達」「教會法學者ノ學說」更ニ立入ツタ研究等個々ノ問題乃至舊約聖書ノ經濟的研究「カルヴィンノ聖書ノ註釋ノ詳細」等ハ之ヲ別ノ仕事トシテコ、デハ極メテ大體ノ事ヲ述ベルニ止メタル。